



誠信交隣 21

縁地連だより

No.25



対馬朝鮮通信使歴史館開館



清見寺ご住職と正使の末裔 李さん



瀬戸内市朝鮮通信使行列再現

NPO法人 朝鮮通信使縁地連絡協議会

目 次

■はじめに	NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長 1
< 各地域の活動 >	
■対馬朝鮮通信使歴史館開館	長崎県対馬市 2
■徳川家康公・生誕の地、愛知県岡崎市における朝鮮通信使関連情報	株式会社ディープジャパン 4
■『絵本 朝鮮通信使』を発行	柏山奉訓（個人会員） 6
■埼玉県の川越で起きている「特別な日」からのご挨拶！	川越唐人揃いパレード実行委員会 7
■牛窓に残る朝鮮通信使の足跡	岡山県瀬戸内市 9
■通信使の史蹟は「西高東低」東京の説明板等の整備を願う	21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会 10
■地域における朝鮮通信使関連エピソード 津市「唐人踊り」の場合	藤本弘子（個人会員） 13
■11回目の朝鮮通信使再現行列	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会 16
■21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靱 開催のお知らせ	広島県福山市 19
■（公財）蘭島文化振興財団からのお知らせ	公益財団法人蘭島文化振興財団 21
■ユネスコ世界の記憶遺産登録4周年記念シンポジウムのご報告	相島歴史の会 22
■朝鮮通信使韓国縁故地縁ネットワーク構築のためのワークショップ	財団法人釜山文化財団 25
■「紀要」原稿募集、縁地連事務局より	縁地連事務局 27
○会員名簿	28

はじめに



2021年度も終わりを迎えました。

現在、世界は非常に困難な状況にあります。

一昨年来の新型コロナウイルスは現状弱毒化傾向にあるとはいえ、過去最大に蔓延した状況下にある上、非常に短いスパンで世界に影響を及ぼしうる変異が繰り返されており、予断を許さない状況が続いています。

さらには、ロシアとウクライナの間において、一歩間違えれば世界中を巻き込んだ大戦へと発展しかねない戦争が勃発しております。

隣国間の恒久的な平和と共存を志向する我々の理念に真っ向から反するこの戦争には非常に強い憂いと憤りを感じております。

先行きが暗く不透明な状況が続いており、滅入ってしまいそうになりますが、そんな中、久しぶりにうれしいニュースもありました。

我々のパートナーである財団法人釜山文化財団が主導して、韓国内に縁地連的な団体が発足しようとしているのです。この団体が動き出せば、非常に心強い仲間が増えることとなります。

光があるところには必ず闇があるように、闇があった先には必ず光があると信じ、今を乗り切って先にある明るい交流を目指してまいりましょう。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会

理事長 松原 一 征



対馬朝鮮通信使歴史館開館

2021年10月末に実施予定であった、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会対馬大会は新型コロナウイルスの影響により実施できなかったこと、改めてお詫び申し上げます。

また、同大会の2022年度への延期についてご承諾賜り、お礼申し上げます。

新型コロナウイルスの拡大は現在(2022年2月上旬)感染者数の上では最盛期という状況にありますが、なんとか終息して、今年こそは皆様をお招きして、大会が開催できることを祈念しております。

さて、対馬市では朝鮮通信使によるまちづくりの一環として、2021年10月30日に「対馬朝鮮通信使歴史館」を開館しました。

この歴史館は、厳原町にある国指定史跡「金石城跡」や対馬藩主宗家の菩提寺である「万松院」などの付近に位置しています。

また、2022年4月30日開館予定である「対馬博物館」の分館として整備が行われ、博物館に先駆けて開館したものです。



対馬朝鮮通信使歴史館外観

【展示の内容】

実物資料、レプリカ資料、模型展示、ガイダンス映像等デジタルコンテンツ、グラフィックパネルなどにより以下のとおり解説しています。

① エントランス展示

- ・朝鮮通信使研究の進展と普及について
- ・朝鮮通信使行列振興会と朝鮮通信使縁地連絡協議会の活動について
- ・ユネスコ「世界の記憶」登録への道程について
グラフィックパネルなどにより紹介

② 基本展示

- ・朝鮮通信使と対馬
- ・朝鮮通信使の旅



エントランス

- ・朝鮮通信使対馬易地聘礼
- ・雨森芳洲と朝鮮外交
- ・文化交流
- ・朝鮮通信使と民衆
- ・エピローグ朝鮮通信使の顕彰と活用
実物資料、レプリカ資料などにより紹介



展示室内

③ガイドンスシアター

- ・「朝鮮通信使～対馬の誠信交隣」
ガイドンス映像により紹介

④情報検索コーナー

- ・世界の記憶登録資料
- ・朝鮮通信使行列振興会の沿革
- ・朝鮮通信使縁地連絡協議会の沿革
- ・朝鮮通信使ゆかりの地の紹介
タッチパネル、専用PCなどにより紹介

⑤図書コーナー

⑥なりきり衣装体験(現在休止中)

また、この歴史館には松原一征コレクションや辛基秀コレクションの一部などの実物資料、レプリカ資料、模型などが数多く展示されております。

今年の大会の際には対馬博物館と対馬朝鮮通信使歴史館を皆様にお披露目できるものと心待ちにしております。是非お越しくください。



徳川家康公・生誕の地、 愛知県岡崎市における朝鮮通信使関連情報

初めまして。昨年から会員の仲間入りをさせて頂きました、岡崎在住の神直子と申します。

ご存じの通り、私が住む岡崎は家康公・生誕の地であり、朝鮮通信使一行が訪ねた記録があります。ただ、その歴史を感じさせるような現存物は少なく、地元住民でもそのことすら知らない人が多いように見受けられ、とても残念に思っております。そこで、朝鮮通信使御一行様を接待したと言われる「御馳走屋敷」を何らかの形で復活できないものかと考えています。

まずは簡単に自己紹介をさせて頂きます。

私は夫の故郷であるこの地に2012年に移住してその歴史を知り、深く感銘を受け、学びを深めてきました。

おりしも岡崎市で長年開催されている家康行列に、2015年に初めて地元の民団による朝鮮通信使隊が結成され、行列に参加するのを目の当たりにしました。

さらには、貴法人の会員でもおられる小田章恵さん(岡崎市在住)が市内で朝鮮通信使の扁額を発見されるなどのニュースに触れ、私自身も日韓関係にさらに関心をもって2018年からは韓国語の勉強も始めました。

事業としても2019年から韓国より有識者や学生らを招聘する事業を始め、岡崎で「現代版朝鮮通信使プロジェクト」と題して国際交流を広げています。

このように10年間を岡崎で過ごした私たち家族は、朝鮮通信使をお迎えすることで復活した日



運営する国際交流カフェの前を通る
朝鮮通信使行列御一行様



岡崎市内にある朝鮮通信使の石碑

韓関係を「徳川の平和」による賜物だと実感するようになりました。

2022年の正月休みには、初めて福山の「御馳走一番館」を訪ね、その軌跡を辿る旅に出かけ、ますますその歴史を広めていきたいとの思いを強くしています。

全国各地に朝鮮通信使にまつわる話があるかと存じますが、その中でも岡崎での物語は印象が大変薄いように感じています。

これをぜひ広く伝えていくためにも、冒頭に書いたご馳走屋敷の再現を実現させたいのです。

具体的にご馳走屋敷とは岡崎藩の迎賓館で、この場所で接待したと言われていました。跡地は市の所有物となっており、駐車場となっています。

岡崎市が本気になれば実現できない話ではないと思うのですが、2014年に夫が当時の市長・内田康宏さんに直訴し、そのことはブログでも紹介(2015年3月8日(日) <https://uchidayasuhiro.cocolog-nifty.com/blog/2015/03/post-2a51.html>) されましたが、動きはありませんでした。

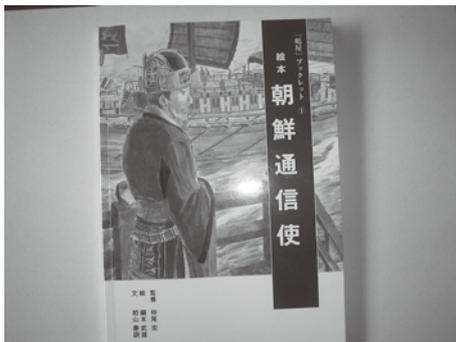
もしそれが現実的に難しかったとしても、何らかの動きを岡崎から作っていくことを希望しています。

全国の皆さまのお知恵をお借り出来たら光栄に存じます。今後ともよろしく願い申し上げます。



『絵本 朝鮮通信使』を発行

「嶋屋」友の会はたつの市立室津海駅館を拠点に、地域文化の向上と文化情報の発信を目指し、幅広い文化活動を行っている市民団体です。設立当初から地域からの文化発信として「嶋屋」ブックレットの刊行を企画していました。このたび、その第1弾として仲尾宏先生に監修をお願いして『絵本 朝鮮通信使』を発行しました。



絵本 朝鮮通信使

多くの人びと(特に若者)に朝鮮通信使について知ってもらうために、朝鮮通信使の始まりから終わりまで、その歴史的意味とともに、わかりやすく述べています。今の若者は、あまり文字を読みませんので、絵本にしました。絵は、漫画のようなものでなく、なるべく史実に基づくように努めています。また、中・高校生の

副読本としても使用できるように、用語解説・文献案内・年表などを付けました。監修者の仲尾先生からは、「とても読みやすく大人も子どもも楽しく味わっていただけの出来上がりで感心しました。」とのお言葉をいただきました。

B5判、74ページ、フルカラーで、定価1,200円(税抜き)で、室津海駅館はもとより、ジュンク堂姫路店などの一般書店でも販売中です。ぜひ一度、お手にとってご覧ください。なお、副読本としてご利用なさる場合は、価格のご相談に応じます。



リアル調の絵柄で製作

本書へのお問い合わせは、室津海駅館(079-324-0595)にお願いします。

また、当会では、朝鮮通信使の普及をかねて、絵本に使用した絵の原画展を考えています。縁地連

の皆様方には当会から原画展開催の申し出がありましたら、ご協力のほどよろしく申し上げます。あわせて、開催をご希望される方がございましたら、海駅館までご連絡ください。

個(地域)の元気が全体の元気につながります。皆様のご協力、ご支援をお願いします。

埼玉県の川越で起きている「特別な日」からのご挨拶！

日本の文化の一つとして、時間の認識に関する意識があります。それは「ハレ」という意識です。「はれ着」「はればれしい」「今日のはれの日」など、単に天候としての「晴れ」という意味とは違う感じ方があります。あえて言えばそれは「特別な意味を持つ日」という時間感覚です。

2005年の第一回の唐人揃いパレードだった11月13日は、透き通ったような青空でした。それ以来、今年まで11月の第二週の日曜日は、雨が一日中降ったという日はなく、いつも午後は青々とした秋晴れが続き、それはまさに「ハレ」の日でした。おかげで、一度も欠けることなく「川越唐人揃いパレード」は開催されました。

21世紀でありながらも、世界には悲しみが覆っています。隣り合う国家や民族や人種であるがゆえにこそ、起こっている悲しみの連鎖があります。でもそれを解決する方法はただ一つです。互いを理解していこうとする気持ち、思いです。違いはあっても、人間は信じ合えることが出来るという思いさえあれば、どんなことも乗り越えることが出来るのです。そしてそれを実現することが出来れば、平和で豊かな関係を結ぶことが出来る。そのことを、江戸時代は実現することが出来ていました。それが「朝鮮通信使」であり、川越という地域の中で行われた「唐人揃い」でした。

物事の全ては多面的です。見方によっていろいろな見え方があります。それでも、未来が豊かになる見方こそが大切なことだと思い、私たちは「川越唐人揃いパレード」を継続してきましたし、同じ思いの方々の強い支援があつて初めてできたのだと思います。

コロナ禍の二年目、パレードは行えませんでした。今年もれんけいじ蓮馨寺での展示や、いくつかの団体のパフォーマンスが行われました。さわやかな「ハレ」の日^{れんけいじ}にふさわしい心豊かなイベントになりました。この二年間の取り組みは、こんな形でも、豊かなイベントが出来るのだという、私たちに新しい未来への予

感を感じさせてくれました。韓国・日本各地で、活動されている皆様からのご支援ご協力に感謝と、未来への予感の手ごたえをお伝えしたいと思います。

来年、川越は市制100周年という記念の年になります。私たちもその中での一役をになうことが期待されています。多文化共生・国際交流の旗を、また「ハレの日」に掲げられるように頑張りたいと思います。可能であれば、ぜひともお越しく下さい。宜しくお願いいたします。

2021年11月14日川越蓮馨寺講堂前で、第一回以来のパレード関係の写真展示が開かれ、多くの方が見に来ました。境内では素晴らしいパフォーマンスが行われ、大歓声が秋空に響き渡りました。平和はこの笑顔と笑いの中にこそあるのです！



パレード関係写真展示会場



牛窓に残る朝鮮通信使の足跡

瀬戸内市は岡山県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られたまちです。また、備前長船の刀剣や古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家「竹久夢二」の生家等の豊かな文化資源があるまちでもあります。

その中でも、市南西部に位置する牛窓地域は「美しの窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄えました。特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、通信使が宿泊したことのある本蓮寺や御茶屋跡など、当時の歴史的文化遺産も数多く残されています。

そうした歴史のある牛窓地域にて、令和3年11月7日に市民主催の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により止む無く中止となりましたが、「コロナ禍によって両国の交流が断たれてはいけない」との主催団体の思い



オリーブ園

により令和3年度は開催を決定。会場では、検温や消毒等の対策を徹底し、参加人数を制限したりイベントの規模を縮小したりするなどして、2年ぶりに両国の善隣友好を祈念するフェスタを開催することができました。

当日は朝鮮通信使行列が再現され、楽器演奏や舞踊を披露しながら牛窓町内を、日韓両国の約140人が華やかな衣装で練り歩きました。出島公園では正使役の朴起準駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也瀬戸内市長が「国書」の交換儀式を行いました。また、市民団体などが韓国の伝統芸能を披露するステージイベントもあり、両国の友好交流を深める一日となりました。

当イベントは、今後も引き続き秋に開催を予定しています。自然美、感性美、伝統美、瀬戸内の美が溢れる瀬戸内市へ皆様のお越しをお待ちしております。



朝鮮通信使行列再現

通信使の史蹟は「西高東低」東京の説明板等の整備を願う

昨年暮、品川区の東海寺を訪ねました。江戸時代の朝鮮通信使がいつもここで正装に着替え、行列の隊列を整えて市中入りしたところ。9、10、11次の通信使が宿泊もしている重要なお寺です。次回、第9次の友情ウオーク（2023年4月出発）の際、ここに立ち寄って韓国の隊員たちに見せてやれたら、と思つての訪問でした。

昔は4万7千坪あったそうですが、境内はせまくて手入れも行き届かず、もちろん通信使との関わりを示す案内板などありません。在職10数年という初老の住職が出てきて曰く、「朝鮮通信使は乱暴を働いて品川一帯では評判が悪いのだ」とけんもほろろ。そのあと品川区教委の文化財担当者に確かめに行きました。当然、そんな事実はなかった。



扁額を見つめる李さん

友情ウオークでは韓国の隊員にできるだけ史蹟や文物等を見てもらっています。日本と韓国はご承知のように不幸な現代史を刻みましたが、対馬から静岡にかけて通信使の資料や交流の証^{あかし}は大量にそして大切に保存されていて驚きます。第5次ウオークでは江戸時代第1回の通信使、呂祐吉・正使の11代子孫、呂運俊さんが韓国隊員で参加。静岡・清見寺で祐吉正使の扁額と対面する劇的な場面もありました。

ところが、箱根の山を越えて東京にかけては通信使史蹟の不毛地帯と言わざるを得ない、極端な「西高東低」の構造になっているのです。理由は首都圏では史蹟関係の多くが関東大震災や東京大空襲で失われたためとされています。そのため通信使を研究する郷土史家等を輩出せず、明治以後は通信使の記憶さえ失われてしまったのです。そんなことから毎回のウオークのたびに東京がこのままでいいのだろうか、という思いは深まるばかりです。

2018年10月、通信使の江戸での宿泊先、浅草の東本願寺門前に説明板が英語、ハングルの説明付きで設置されました。東京日韓親善協会連合会の保坂三蔵会長や地元民団などの働きかけに対し台東区役所が対応したもので大きな前進だと思います。これが刺激になって様々な動きが出てくるかと期待しましたが、現実には東海寺の例が示す通りです。



芝口御門跡

東京都内には東本願寺のもの以外、通信使関連の説明板はあと二つあるだけです。ひとつは昭和52年10月、中央区教委が銀座8丁目の一角に作った「芝口御門跡」の案内板とレリーフ。芝口御門跡というのは徳川幕府がその権勢を通信使に示すために作った門で

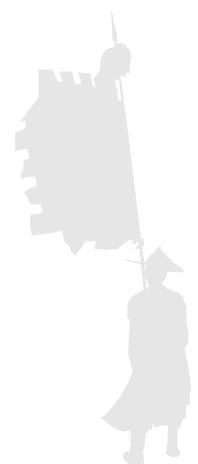
すがすぐ焼失したそうです。

もう一つは神田川にかかる雉子橋の案内板。通信使の食事に提供するためこのあたり一帯で雉子を飼育したのが橋の名の由来である、と書かれています。東京五輪のため4年前に千代田区教委が立て替えましたが、以前の立て札には「数万人の唐人、江戸へ来たり」と意味不明の文章だったそうです。いまは「家康が朝鮮から使者をもてなすため」と正しい文言に変わっています。

東京は通信使が国書を携え、数か月もの旅を続けて到達する目的地。「東低」を少しでも是正するためには、東本願寺のような説明板を品川の東海寺にも設置することが求められます。さらにははねかわとうえい羽川藤永の肉筆画、「朝鮮通信使来朝図」の拡大複製版を日本橋の一角に恒久展示したいものです。この絵はいまの三越百貨店のさじきから大勢の江戸市民が行列を見物している通信使絵画の代表作品です。背景には富士山が描かれ、場所も特定されており、江戸市民の熱烈歓迎ぶりをしのぶことができます。

そして切り札は江戸城、いまの皇居。通信使の一行は大手門から入城し、本丸の大広間で将軍に面会、国書伝達の儀式を行っています。その本丸跡の一角に案内板とモニュメントを設置することです。本丸は昭和35年の閣議決定により皇居付属庭園として整備され、同43年から一般にも公開されていますから決してアンタッチャブルな聖域ではありません。鎖国といわれた江戸時代に12回来日した外交使節団であり、260余年もの長きにわたり両国の友好を築いた平和のシンボル・通信使です。江戸幕府と共に顕彰の意味も兼ねてその資格は十分にあると確信します。

ハードルがとてつもなく高い取り組みです。しかし、実現できたら朝鮮通信使への関心と理解がいちだんと高まり、日韓の友好促進にもつながると信じます。



地域における朝鮮通信使関連エピソード津市「唐人踊り」の場合 藤本弘子(津市在住)

朝鮮通信使由来の伝統芸能については、かつては江戸、川越など10カ所以上の地域で唐人踊りの名称を持つものがあったようであるが、現在は牛窓町、鈴鹿市、津市の3カ所の祭りのなかに当時の通信使の面影を見ることができる。400年近く前の行列が出発点であるので実証するための素材は少なく、現存する絵画や古文書、音楽などから類推し、津の唐人踊りが今に残る所以を探ってみたい。

三重県津市は、藤堂高虎が1608年、今治から伊勢、伊賀上野へ転封になり築いた城下町である。高虎は築城の名人として活躍し、家康に32万石の譜代待遇の外様大名として高く評価されたと言われている(江戸上野の上野は、伊賀上野からの命名と言われている)。領地内に通信使の往来はなかったにせよ、東海道筋の使役、馬の調達、警護にも関わったとの記録がある(『宗国史』、『藤堂藩伊賀城代家老日誌』など)。その高虎の二代目を継いだのが高次である。その高次が1635年、津八幡宮信仰と町興しのために祭礼行事を始めたのが現在の津の大祭の起こりとされている。

当時津の城下町の代表格は分部町(わけべまち、現・東丸の内)であった。ここは伊勢商人の発祥の地とされ、江戸の大伝馬町で通信使の華麗な行列を目の当たりにした商人たちが、この楽隊の衣装や踊りを津の民衆にも見せてやりたいと思ったのか、高次がこの真似物を津の祭りにも取り入れて盛り上げたいと考えたのか、いくつかの説が今に伝えられている。その後1945年の大空襲で、大織と石水博物館に残る古い仮面や八幡宮祭礼絵巻を除いて、すべての装束・用具は焼失した。戦後分部町の有志が手分けして復元、1956年(昭和31年)の大祭からまた参加することとなり、いまの唐人踊りにつながっている。現在の行列では仮面をつけ、喜怒哀楽の表情をもち、能面や韓国の仮面劇の様相も取り入れられている。

津藩藩士山中平助が編纂した『勢陽雑記』によれば、1650年頃の津八幡宮の祭礼では、「分部町唐人の真似」とある。当時の唐人は「異国人」であり、朝鮮通信使行



津駅隣接施設にある「唐人踊り」の絵画

列に由来する「唐人」とは異なる。三重県では県立美術館にて2004年(平成16年)「まつり・祭・津まつり」展が開催され、ニューヨーク・パブリック・ライブラリーが所蔵する絵巻『勢州一志郡八幡宮祭礼』が一時里帰りした。これは現存する最古の行列の絵巻であり、通信使の服装は黒

装束でオランダ風でもあり、分部町商人の想像した「唐人」の装束であろうか、いつから今の彩色された形になったのかは定かでない。

通信使が訪れることのなかった津の町で、なぜ大祭に唐人踊りが残っているのか。私見を述べさせていただくならば、伊勢の地は神宮のお膝元であり、その風土に高虎が運んできた武士文化が融合しながら発展してきたのではないか。八幡様発の祭りでは唐人踊りの行列の道囃子として雅楽の「越天楽」が流されている。雅楽は祖先を祀る祭祀音楽である。

さらに、津市分部町を発祥地とする分部氏は、近江の大溝藩に入封した際に、ほとんどの家臣を伊勢から引き連れていったとされる。大溝藩は2万石の小藩ながら学問の盛んな藩であり、儒学者の中江藤樹は藩領の小川村で生まれた。このような歴史上の逸材を出していることから、分部町の町民には文化財保存を重視する気概のある人が大勢いたのではないかと思われる。戦後早くに唐人踊りを復興させたのは分部町の「唐人踊り保存会」である。町内の商店では、絵葉書、グッズ、お菓子の包みにも唐人踊りが描かれ、若い世代にビジュアルにも訴えて後世に残す努力をしている。

このような今に続く町民の心意気が、日韓の浮き沈みある歴史のなかで通信使との交流の足跡を一地方に残すことに役立っている。友好関係は築くのに長い時間がかかるが壊すのは瞬く間である。江戸期の日本の文化向上に通信使の往来が

貢献したことを忘れず、津の唐人踊りが友好関係を繋いでいく点となれば、コモンの再生・文化の共有にもつながり、ただ続けていくだけでも両国にとって意義深いことだと思われる。

参考文献:『まつり・祭・津まつり』実行委員会 2004年

:『唐人踊り読本』川竹大輔 津市分部町唐人踊保存会1998年

:『れきさん雑記』津歴史散歩会 1996年

:『わか町に來た朝鮮通信使I』辛基秀編 明石書店1993年

:唐人踊り/津まつりWikipedia



1 1 回目の朝鮮通信使再現行列 岡山県瀬戸内市牛窓にて 2021年11月7日実施

11月7日に民間主催11回目の朝鮮通信使再現行列を無事終えた。当日は雨80%の予報が後日にずれ込み、雲ひとつない青空に恵まれた。天気は運だ。今回もついていた。

去年はコロナ禍で中止したので2年ぶりの開催。まだコロナ禍は続いているが、ワクチン接種2回もほぼ終え、新規感染者数も減り(準備を始めた7月はまだ不安は大きかったが)気持ちよく開催できた。コロナ感染対策として、

- ①イベントはすべて戸外です
- ②行列の人数を半分にする
- ③行列する距離を短くする
- ④正使が途中船に乗るのはやめる

これらをまず決めた。

実行委員会は7月から月2回、2時間ずつ、二十数名が集まり、チラシ制作・衣装・行列・受付・コロナ対策・マルシェ・ステージ・昼食作り・昼食配布・船(海の祭)・協賛金・ライン管理・申請・写真等の係を担当した。初めてドローン撮影もお願いした。

行列の経路を見直し、出島から海遊文化館の前を通り海沿いに燈籠堂まで行き、潮待ち唐琴通りに入り本蓮寺下を直進し、再び出島にもどる2キロを設定する。着替えは隣接の小学校の体育館をお願いした。牛窓本町、西町を通るのは初めてで道幅が細いのが気になったが、地元の方には喜ばれた。

出島にステージを組むのは大変だ。市内の別のイベントで使っている荷台がステージになる大型トラックを借りることができた。これに看板や幕、韓国提灯で飾り付けをする。

コロナ対策として全員のマスク着用が必須だ。岡山韓国教育院朴ヨンホ院長が、地元高校生の考えたイラスト入り特注マスク300枚を韓国で印刷して、行列参加者とボランティア全員に配布して下さった。

観光客には食べ物も大切。これが一番かも。マルシェ出島と称し、チヂミ、キンパ、キムチ、カレー、ベトナム料理、フィリピン料理、クッキー、ソフトクリーム、コーヒー、焼き鳥、韓国手芸品、地元野菜などのテントもステージ前の広場両側に設置した。雨天を心配して仕込みをひかえたのと予想外の大勢のお客で早々に売り切れになる店が続出した。私も買えなくて残念。出島入り口の観光客用の個票のカードも足りなかった。

さて、行列の先頭は例年通り岡山朝鮮初中級学校舞踊部が踊りながら行進した。頭上の白く長い紐(サンモ)が回る。清道などの旗を持つ男性8人は現代の通信使、市内の郵便局長さん、正使、駐神戸朴起準総領事の乗る台車を押すのは岡山大学の韓国留学生たち、副使の台車は地元邑久高校のヨット部を中心とする生徒たちだ。2本の扇を手にしたチマチョゴリの女性は大学生や高校生たち。そしてラインで参加の人たちも。結局行列は150人になり、ボランティアは120人にのぼった。

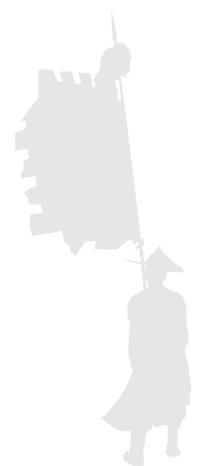
藩士役で歩いた武久市長は頭にまげをつけ、朴起準総領事との国書交換セレモニーを誠信交隣の意をもってとり行った。(実は市長はステージのトりのムジョッコンでその韓国語と音量で拍手喝さいを浴びたのだが)ステージは韓国伝統歌舞やK-POPで出島公園を朝鮮半島の雰囲気にかえ、一連のイベントで国の政治はさておき民間での友好を深めた一日だった。

地元の商店、企業、個人の方々をはじめ、駐神戸大韓民国総領事館と、韓国との友好を願う多くの方たちの、有形無形のご支援で盛大に思い出に残るイベントとなったことに心からの感謝を申し上げます。カムサハムニダ。





集合写真



21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・鞆 開催のお知らせ

福山市では、2010年度(平成22年度)より、日韓共通の文化である囲碁を通じて国際交流を深めるとともに、本市の魅力を多くの方に知っていただくため、「21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・鞆」を開催しています。この行事は、かつて朝鮮国から一級の文化人が通信使として鞆に派遣されたことになぞらえ、韓国から囲碁のトップ棋士を21世紀の通信使として招き、ゆかりのある鞆の浦にて日韓トップ棋士による対局をはじめとした交流事業を行うものです。

2022年(令和4年)10月8日(土)～9日(日)

福山市鞆町内(鞆港常夜燈前、福禅寺対潮楼など)で開催予定

※詳細については9月頃、福山市HPに掲載します。

初日の 行事

- 韓国のプロ棋士を含む方々を現代の朝鮮通信使として、鞆港の常夜燈前でお迎え
- 韓国の伝統芸能「サムルノリ」を披露
- 鞆港常夜燈前から鞆公民館まで通信使行列が行進
- 通信使遺跡(国史跡)として名高い福禅寺対潮楼にて、にっとうだいいちけいしょう「日東第一形勝」と称された美しい景色を背景に、日韓のプロ棋士による囲碁対局を開催



韓国棋士出迎え



通信使行列

初日の
行事

- 日韓プロ棋士による対局は、事前申し込みで一般の方も序盤見学が可能
- 鞆公民館にて、対局の中継映像を見ながら、プロ棋士による大盤解説会を開催



日韓プロ棋士による囲碁対局

2020年度は、韓国側棋士として
りゅうしくん
柳時熏 九段、日本側棋士として
なかのひろなり
中野寛也 九段が参加

2日目の
行事

- 参加者が日韓のプロ棋士と直接対局を行うことができる交流イベント「百面打ち」を開催



五十面打ち

※写真は2020年度の様子です。

風情あふれる美しい景色、迫力ある伝統芸能の披露及び囲碁対局といった文化交流のすばらしさを味わっていただき、朝鮮通信使ゆかりの鞆の浦を、ぜひお楽しみください。

松濤園

(公財) 蘭島文化復興財団からのお知らせ

広島県呉市下蒲刈町にある松濤園は令和4年度で28年目を迎える。松濤園の朝鮮通信使資料館 御馳走一番館では開館以来、朝鮮通信使が下蒲刈に立ち寄った歴史を来館者に紹介している。また、毎年10月の第3日曜日には朝鮮通信使再現行列を開催し、朝鮮通信使の歴史を広く紹介するイベントを開催してきた。しかし、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広島県に緊急事態宣言などが発令された期間は休館を余儀なくされ、朝鮮通信使再現行列も昨年に引き続き中止となった。そんな中でも開館中には遠方から訪ねてくる人もおり、「ずっと来たかったのが、やっと来れた」などと話してくれる来館者がいた。今後もそういった人が増えていくよう展示公開事業を続けたい。松濤園の朝鮮通信使資料館を目的に来館する人の数は年々増加しているように感じる。これも、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録された反響かと感じる。

呉市では毎年市内の小学6年生が「ふるさと探訪事業」として松濤園で地域の歴史を学習する機会がある。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止になってしまった。令和3年度はこれまでと方法を変えることで、開館中は実施することが出来た。これまでは学芸員が子供たちに付き添い、朝鮮通信使の歴史を話しながら展示作品を紹介していたが、今年度は児童の好奇心にまかせて展示品を見てもらい、質問があつたら自由に聞いてもらうよう変更した。その中で、今まででは気付いていなかったことがいくつかあった。小学6年生の児童の中には、韓国へ旅行に行った経験のある児童もおり、また韓国語が読める児童もいた。そんな子が、館内の韓国語を嬉しそうに音読しながら見学したり、友達に韓国語の意味などを教えていた子供もいたり、自由見学でないとできない学習をしていた。今後、朝鮮通信使への関心が高まる中で、地域の歴史とともに子供たちにどう紹介していくかを考えていく必要性を感じた一年であった。

令和4年度の松濤園の展示公開事業

- 所蔵品展 I) 4/13 (水) ~ 6/20 (月) 「朝鮮通信使をめぐる人々」
- II) 6/22 (水) ~ 9/5 (月) 「視点—朝鮮通信使と日本—」
- III) 9/7 (水) ~ 11/28 (月)
「朝鮮通信使—ユネスコ「世界の記憶」登録から5周年—」
- IV) 11/30 (水) ~ 1/30 (月) 「朝鮮通信使が見た江戸文化」
- V) 2/1 (水) ~ 4/10 (月) 「下蒲刈の歴史—朝鮮通信使と琉球使節団」

ユネスコ世界の記憶遺産登録4周年記念シンポジウムのご報告 「朝鮮通信使と福岡・新宮、時代を超えて」

新宮町活性化事業として初めて助成金を頂き、ユネスコ登録4周年記念朝鮮通信使シンポジウムを新宮町の「しんぐうそびあ」の多目的ホールで11/28に開催した。過去2回は福岡市の西南学院大学院ホールで開催してきたが、今回相島のおひざ元の新宮町で初めて開催した。この時期はコロナの第5波が落ち着いていたとはいえ、コロナ対策しながら先着75名（400名入る会場）に限定募集、最終的に100名（関係者入れて）の参加、多くの町民に朝鮮通信使を知って頂き、今後の展開（相島訪問など）に期待を抱かせた。

今回の目玉は辛基秀先生が1979年に制作され当時通信使ブームを起こした映画「江戸時代の朝鮮通信使」の上映であった。水戸黄門役の西村晃のナレータで浮世絵、絵巻物、各地の風景、祭りなどを紹介し、あっという間の50分。アンケートでは「こんな映画があったとは?!今見ても新鮮だ」、「もっと早く見たかった!」「通信使がなんであるかが、よくわかった!」など大好評であった。

当初はこの映画の解説を辛基秀先生の次女理華さんをお願いする予定で進めていたが急遽渡英となり、尹先生（西南学院大学准教授）をお願いした。あと3名の発表を経て、APU大学の轟先生のコーディネーターでパネルディスカッションを終えた。

それぞれが、今何をなすべきか、多角度から議論したあと、今年の秋11月に5周年を盛大に開催することを確認して終えた。以下概略。

第1部：映画上映「江戸時代の朝鮮通信使」 辛基秀監修（1979年作品）

第2部：発表者4名

①映画「江戸時代の朝鮮通信使が遺したもの」

尹芝恵・西南学院大学交際文化学部准教授

この映画は辛基秀氏が「朝鮮と日本の善隣友好関係が260年も続いたことをきちんと伝えることで、日本の誤った朝鮮観を正す一助にしたい」との思いで制作された。この映画は日本各地にて上映され、通信使ブームを巻き起こした。その後の教科書の内容に大きく影響を与え、1985年に東京国立博物館が韓国中央国立博物館の協力を得て通信使展の開催に繋がっていった。この映画は韓国で2015年に上映され多くの反響を呼んだ。次女の理華さんは父から「日韓関係が

困難になればなるほど、友好の記憶をもう一度思い出すために、この映画を多くの人にみてほしいと思う。日本と朝鮮半島の関係は千年の歴史があるだけに過去の不幸な50年だけでなく、百年後の未来を据えて行動しなさい」と、父に教わっていたエピソードを尹先生が紹介した。過去50年の過ちを知るだけでなく、不幸を乗り越え明るい未来のために手を結んでいきましょうと、この映画を多くの人に見て欲しいと呼びかけた。

②朝鮮通信使来日における新宮浦の役割

吉田智史・志免中学校教諭、（現在九州大学博士課程）福岡市史編纂委員

通信使を相島で迎えるための重要な機能を新宮浦は果たした。人夫動員や費用負担、物資の供給などで苦労もあったが、通信使特需による活況もあった。新宮町の横大路家文書に通信使関係含め貴重な史料が多々ある。この保存・活用をして、今後中学の授業に使えたらいいなあと思う。

③相島の概況と通信使迎護準備中の61名溺死関連・神宮寺のお宝

中澤慶輝・神宮寺住職

第9次1719年の朝鮮通信使の迎護準備中に台風で61名が亡くなる事故があり、それを供養した石碑ということが拓本を採ったことで分かった。それまでは島の人だれも通信使と関係あるとは知らなかった。この拓本採りでお寺にある合同位牌や扁額の存在の意味が判明した。寺にはあと「釈迦涅槃図」や「地獄変相図」などの掛け軸、秀吉 関連の「大銚子」がある。港近くに通信使の顕彰碑と「誠信交隣」の説明板を設置した。また神宮寺には嶋村文庫（約500冊）があり活用してほしい。



④相島の通信使の客館・有待亭との関連通信使の伝承を中心に～

今村公亮 相島歴史の会

新宮町誌を変える出来事2つを見つけた。有待亭の名づけは亀井昭陽ではなく父である亀井南冥の可能性が高い。もう1つは朝鮮側の使行録1～6次までの記録で客館の位置を新宮町誌では不明とあったが、朝鮮側の原資料を読むことで4～6次までは浜辺に近いことが分かった。これから類推して第1次から11次まで島の南西部、浜辺に近い位置だと思われる。これを裏付けるためにも現在出土

した陶磁器の破片の年代不明の28片を調査すべきと提起した。通信使が島に伝わっていないのは偏に明治の国策、特に教科書の内容によるのではと、今後の調査課題とした。

第3部：パネルディスカッション 轟博志・APU大学教授 発表者の4名

映画「江戸時代の朝鮮通信使」上映時に音声トラブルなどが少しあったが映像の力で通信使の意義をしっかりと伝えてくれた。知らしめる映像の力が如何に優れているかを認識したことでもあった。尹先生には映像の力について、吉田先生には中世の時の立花との関係について、中澤和尚様には史料を未来永劫につなげるには、今村さんには通信使の教育は如何にあるべきかを尋ねて回答を頂いた。そのあと会場から出ていた質問を幾つかピックアップして回答して終えた。質問が多くて応えきれないほどの盛況を呈した。

アンケートから (代表例)

- ・初めて辛基秀さんが42年前に作られた映画を観ましたが、先進的な映画にびっくりしました。未来に向けた日韓関係の構築が大切だと思います。(60代・男性)
- ・朝鮮通信使の意義を映像で分かりやすく学んだ。発表者の熱意を十分に受け取ったとともに私も学んでいきたい。(70代・女性)
- ・こんな機会を大切にして、また参加したい。自分の“朝鮮通信使の旅”を続けていきたいと思います。(60代・男性)
- ・朝鮮と日本の友好関係が通信使使節団として260年続いたことに興味を持ちました。これからのステップまで討論されていたので有意義でした。今後調査・研究が進めば良いと思います。(50代・女性)
- ・秀吉の朝鮮出兵、明治以降の植民地化で歴史認識が違うこと。教育の大切さ、交流の大切さに気付きました。(女性・60代)
- ・相島は歴史の宝庫であり学べば深い。今日の企画に感謝です。(70代・男性)
- ・日本に嫌韓・反韓の人が多くの中で、日韓の平和をこんなに望んでいる人もいるのだと嬉しく思いました。(女性・20代)
- ・朝鮮通信使のことをもっともっと大きくPRして、今後の日韓関係の正常化に役立つべく盛り上がることを期待します。(70代・男性)

朝鮮通信使韓国縁故地縁ネットワーク構築のためのワークショップ 「一つになるための第一歩」

日本にはNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会があり、朝鮮通信使ゆかりの地域の広域ネットワークがある。釜山文化財団とともに「朝鮮通信使の記録」をユネスコ世界記録遺産に登録させたパートナーでもある。

以前から、日本の縁地連のような韓国の朝鮮通信使関連のネットワークを構築する必要性が提起されてきた。韓国は、日本と比べると朝鮮通信使の縁故地域において通信使の痕跡があまり残っていない。韓国内の各縁故地域は、通信使が釜山に最終終結するための経由地に過ぎず、文化交流の場を開いて多くの記録や痕跡が残っている日本とは状況が違うためである。そのため、韓国の各地域や自治体においては、通信使が経由した地域だからといって、事業に取り組むに十分な名分が立たない、といっても過言ではないだろう。このような理由や様々な利害関係なども相まって、これまで韓国内ネットワークの構築は立ち消えになってきた過去がある。

また、記録遺産登録後、朝鮮通信使によって金銭利益を得ようとする動きが起り、その動きは釜山文化財団のみにとどまらず外部にも影響を与え、交流を希望する他の地域の団体や個人には朝鮮通信使事業に関する警戒心があつた。また財団と全く関係がない事業に財団が介入したという歪曲された情報が出たりしていた。これらの経緯の中で、「釜山文化財団が朝鮮通信使事業を独占しようとしている」という誤解が広まったりもした。

こういった状況もあいまって、釜山文化財団の実施する朝鮮通信使に関する事業については、日本との交流が中心であり、韓国内の交流は消極的で後ろ向きであつたと言える。

新型コロナウイルスの影響で交流事業が滞っていた2020年5月、この状況においてできることをやろうと、記憶遺産登録後の韓国各地の朝鮮通信使関連事業を整理

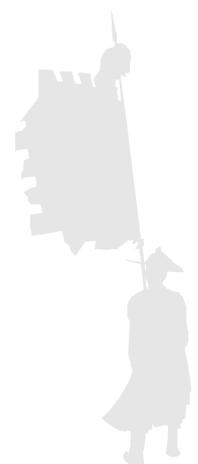


ワークショップの様子

し、関連機関や団体に連絡を取り始めた。突然の連絡であったにも関わらず皆さん話をきちんと聞いてくれて、思いを共にしてもらい、ついに2021年4月、第1次ワークショップのために釜山へ足を運んでくださった。ワークショップでは、現在各機関が朝鮮通信使関連で取り組んでいる事業や研究等の事例を発表する場を設けた。交流はお互いのことを良く知ることから始まるからだ。発表では自分たちの知らないところで朝鮮通信使の価値を知らせるため、多くの方々が努力してくれていることを知った貴重な時間だった。仲間ができたように感じられ、顔合わせとして成功だった。

さらに10月には公州の忠清南道歴史文化研究院の主催で「朝鮮通信使活用セミナー」を開催し、活用方法について集中的に討論する場が設けられた。その時、多くの方々が必要だと訴えたのが「若い世代の推進力」だった。また、日本と交流し、かつ世界記憶遺産の登録推進機関であり、現場の実務経験が豊富な釜山文化財団がこのネットワークのプラットフォームの役割を果たすべきだという意見があった。

12月9日に行われた第2次ワークショップでは、第1次の内容を踏まえ、各機関のネットワーク構築について素直な意見交換を交わすことができた。これ以降も各機関の持つ特性を理解しつつ、ネットワーク発足に向けた作業を継続してゆく。名称、定款、組織及び加入対象など決定すべき詳細が残っており継続的な協議が必要である。発足以降も相互協力、縁地連との交流など先に進むべき道は遠い。朝鮮通信使が持つ平和の精神は、韓国内はもとより世界中に伝えなくてはならない。今、共通の目標を目指して韓国の朝鮮通信使縁地連は1つになるための道を踏み出した。



「紀要」原稿募集、縁地連事務局

◆紀要「朝鮮通信使地域史研究」第3号の原稿を募集します。

1. 発刊者 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
2. 編集者 NPO縁地連朝鮮通信使関係地域史研究部会
3. 発刊予定時期 2023年3月末までに
4. 原稿締め切り 2022年6月末必着
5. 投稿種別及び枚数
 - (1) 研究(論文): 400字詰原稿用紙換算50枚前後
(図版を含めて20,000字程度)
 - (2) 研究ノート: 同上25枚程度(図版を含めて10,000字程度)
 - (3) 資料紹介: 資料によって随時決定
 - (4) 歴史教育: 教育普及に関する論考
6. 投稿可能者
 - (1) 研究部会委員をはじめとした縁地連会員
 - (2) 原稿種別に関わらず、1人もしくは1団体が応募できる原稿は原則1本とする。
 - (3) 投稿した原稿等については、採録の可否に関わらず返却しない。

◎詳しくは下記までお問合せください。

817-0016 対馬市厳原町東里303-1野良宿舎206号 町田一仁
TEL 090-4575-9975 Mail:k.m.happy110@docomo.ne.jp

◆縁地連事務局より

今年度延期でご承認いただいた、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会対馬大会は、2022年10月末に実施を予定しています。
今年度も依然として新型コロナウイルスの猛威は拡大中で、実施できるか不明な状況下ではありますが、今度こそ、という思いで準備を進めます。



NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(自治体・団体)

(2022年3月現在)

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	日光市 教育委員会	文化財課	栃木県日光市今市本町1番地
2	自治体	静岡市役所	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
3	自治体	大垣市	經濟部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
4	自治体	長浜市	歴史遺産課	滋賀県長浜市八幡東町632番地
5	自治体	近江八幡市役所	文化観光課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
6	自治体	彦根市役所	シティプロモーション推進課	滋賀県彦根市元町4-2
7	自治体	京都市役所	国際交流・共生推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
8	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
9	自治体	瀬戸内市役所	秘書広報課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
10	自治体	福山市	文化振興課	広島県福山市東桜町3-5
11	自治体	呉市 文化スポーツ部	文化振興課	広島県呉市中央4-1-6
12	自治体	上関町 教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
13	自治体	下関市役所	文化振興課	山口県下関市南部町1-1
14	自治体	彦岐市 教育委員会	文化財課	長崎県彦岐市芦辺町深江鶴亀515-1
15	自治体	名古屋市 教育委員会	文化財保護室	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
16	自治体	たつの市 教育委員会	社会教育課	兵庫県たつの市龍野町富永1005-1
17	自治体	東京都台東区	都市交流課	東京都台東区東上野4-5-6
18	自治体	対馬市	文化交流課	対馬市厳原町国分1441番地
19	団体	青丘人権文化の会	八木 勝子	大阪府門真市南野口町23-3
20	団体	公益財団法人 高麗美術館		京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
21	団体	かみのせき郷土史学習にんじゃ隊	井上 敬二	山口県熊毛郡上関町長島583-7
22	団体	津市分部町唐人踊保存会		三重県津市東丸之内19-3
23	団体	唐子踊保存会	会長 柴田 洋秀	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4882-3
24	団体	芳洲会	会長 北村 又郎	滋賀県長浜市高月町雨森1701
25	団体	朝鮮通信使行列振興会	会長 田崎 貢	長崎県対馬市厳原町国分1441
26	団体	朝鮮通信使対馬顕彰事業会	会長 佐々木達也	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
27	団体	「静岡に文化の風を」の会	代表 佐藤 俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
28	団体	東京対馬会	幹事長 修行 秀樹	東京都千代田区麴町1-5-4-410
29	団体	日韓交流・新宮チェビの会	堀田 広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
30	団体	日本コリア協会・大阪		大阪府大阪市北区錦町2-2
31	団体	日本コリア協会・福岡	堀田 広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
32	団体	(一社)対馬観光物産協会	会長 佐伯 達也	長崎県対馬市厳原町国分1441
33	団体	(公財)蘭島文化振興財団	理事長 海生 泰定	広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
34	団体	NPO辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール	姜鶴子	大阪府都島区中野町5-14-1桜ノ宮リバーシティNAC1号棟2602
35	団体	かみのせき史談会	松村 宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
36	団体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
37	団体	対州海運株式会社	社長 松原 基樹	長崎県対馬市厳原町久田道1661
38	団体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	会長 遠藤 靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4
39	団体	株式会社 コミュニティメディア	社長 米田 利己	長崎市出島町1-1出島ワーフ203号
40	団体	在日本大韓国民団京都府地方本部	団長 金 政 弘	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
41	団体	川越唐人揃いパレード実行委員会	会長 江藤 善章	埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
42	団体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣 相 圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
43	団体	NPO縁地連 朝鮮通信使関係地域史研究部会	会長 仲尾 宏	山口県熊毛郡上関町室津549-7
44	団体	相島歴史の会	事務局 今村 公亮	福岡県春日市千歳町3-30-51
45	団体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田 民雄	広島市中区小網町2-1
46	団体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呂 健二	東京都港区南麻布1-7-32
47	団体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾 俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F
48	団体	静岡商工会議所	会頭 酒井 公夫	静岡県静岡市葵区黒金町20-8

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
49	団体	NPO法人 AYUドリーム	理事長 雨宮 令子	静岡県静岡市清水区興津中町60-2
50	団体	在日本大韓国民団山口県地方本部	団長 姜 昌 憲	山口県下関市東大和町2-13-10
51	団体	在日本大韓国民団福岡県地方本部	団長 李 相 鎬	福岡県福岡市博多区博多駅前 1-18-17
52	団体	フレンド・アジア・ロード	事務局 田中 統	愛知県名古屋市中区千種区御影町 1-11-10ライオンズM513
53	団体	一般社団法人新宮町おもてなし協会	長崎 武利	福岡県糟屋郡新宮町下府2-6-8
54	団体	東京日韓親善協会連合会	会長 保坂 三蔵	東京都台東区池之端2-5-36
55	団体	在日本大韓国民団大阪府地方本部	団長 李 元 徹	大阪府大阪市北区中崎2-4-2
56	団体	在日本大韓国民団東京地方本部	団長 金 秀 吉	東京都港区南麻布1-7-32-5F
57	団体	在日本大韓国民団愛知県地方本部	団長 朴 茂 安	愛知県名古屋市中村区亀島1-6-2
58	団体	在日本大韓国民団神奈川県地方本部	団長 金 利 中	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
59	団体	神奈川県日韓親善協会連合会	会長 藤木 幸太	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
60	団体	在日本大韓国民団埼玉県地方本部	団長 田 嶋 玠	埼玉県さいたま市浦和区常盤4-16-7
61	団体	在日本大韓国民団滋賀県地方本部	団長 朴 鍾 文	滋賀県大津市島の関9-5
62	団体	在日本大韓国民団岩手県地方本部	団長 申 百 澈	岩手県盛岡市本宮4丁目3-8
63	団体	在日本大韓国民団長崎県地方本部	団長 姜 成 春	長崎県長崎市樺島町6-15
64	団体	在日本大韓国民団宮城県地方本部	団長 金 政 郁	宮城県仙台市青葉区本町1-5-34
65	団体	在日本大韓国民団群馬県地方本部	団長 朴 旋 用	群馬県前橋市古市町497-5
66	団体	在日本大韓国民団佐賀県地方本部	団長 朴 弘 正	佐賀県佐賀市神野東1-5-9
67	団体	在日本大韓国民団静岡県地方本部	団長 尹 憲 祚	静岡県静岡市葵区弥勒2-5-22
68	団体	在日本大韓国民団岡山県地方本部	団長 宋 燦 錫	岡山県岡山市北区駅前町1-5-21
69	団体	在日本大韓国民団富山県地方本部	団長 金 仁	富山県富山市牛島新町4-3
70	団体	在日本大韓国民団広島県地方本部	団長 李 英 俊	広島県広島市東区東蟹屋町7-9
71	団体	在日本大韓国民団石川県地方本部	団長 金 沂 秀	石川県金沢市広岡2-6-26
72	団体	日韓親善協会中央会	会長 河村 建夫	東京都千代田区平河町2-7-1
73	団体	朝鮮通信使川御座船を考える会	代表 藤井 薫	大阪府豊中市千里園1-10-4
74	団体	千葉県日本韓国・朝鮮関係史研究会	会長 吉井 哲	千葉県千葉市美浜区真砂2-17-9
75	団体	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会	会長 広畑 周子	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓3533
76	団体	在日本大韓国民団茨城県地方本部	団長 張 仙 鶴	茨城県水戸市青柳町344-2
77	団体	在日本大韓国民団 北海道地方本部	団長 李 圭 亮	札幌市中央区南9条西4丁目1-7 韓国文化会館4F
78	団体	山口県日韓親善協会連合会	会長 友田 有	山口県下関市岬之町8-16コーエービル2F
79	団体	朝鮮通信使と共に福岡の会	共同代表 李相鎬、嶋村 初吉	福岡市博多区博多駅1丁目18番17号
80	団体	宗教法人慈照院		京都市上京区今出川烏丸上る相国寺門前町703
81	団体	宗教法人 清見寺	代表役員 一條 文昭	静岡県静岡市清水区興津清見寺町418-1
82	団体	東京国立博物館	総務課	東京都台東区上野公園13-9
83	団体	本蓮寺		岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓3194
84	団体	社団法人 釜山韓日親善協会	会長 朴 洪 圭	韓国釜山市東区草梁洞283-8
85	団体	みやこ町歴史民俗博物館		福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
86	団体	大村市テコンドー協会	会長 木下 建作	長崎県大村市原口町1178-8
87	団体	株式会社ティープ・ジャパン	代表取締役 神 直 子	愛知県岡崎市康生通東1-23八田ビル1階
88	団体	九州の中の朝鮮文化を考える会	嶋村 初吉	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252

(個人)

No.	種別	氏 名	住 所
1	個人	原 田 令 嗣	
2	個人	萩 原 昭 一	
3	個人	村 上 和 弘	
4	個人	山 梨 涉	静岡県清水市
5	個人	盛 月 寿 美	
6	個人	高 田 好 浩	
7	個人	蓮 池 章 平	
8	個人	茶 谷 十 六	

No.	種別	氏 名	住 所
9	個人	浅野 慎太郎	
10	個人	市 山 等	長崎県壱岐市
11	個人	井 上 敬 二	
12	個人	井 上 美 登 里	
13	個人	岩 川 龍 一	静岡県静岡市
14	個人	上 西 法 子	兵庫県神戸市
15	個人	上 村 順 造	
16	個人	梅 本 明 則	山口県光市

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	氏名	住所
17	個人	岡部良一	兵庫県新温泉町
18	個人	奥村隆幸	
19	個人	小椋勉	兵庫県神戸市
20	個人	小田章恵	愛知県岡崎市
21	個人	筧真理子	
22	個人	片山真理子	
23	個人	加堂貞幸	
24	個人	北村欽哉	
25	個人	北村久代	
26	個人	上月香澄	兵庫県加古川市
27	個人	齋藤健司	
28	個人	佐々木悦也	
29	個人	佐々木正行	
30	個人	佐島儀子	
31	個人	柴村敬次郎	
32	個人	庄野伸十郎	長崎県対馬市
33	個人	新本直登	
34	個人	杉田功	大阪府守口市
35	個人	鈴木真弓	静岡県静岡市
36	個人	多賀俊介	広島県広島市
37	個人	高正晴子	
38	個人	武内禎子	山口県上関町
39	個人	田中解子	
40	個人	玉貫信也	
41	個人	薦村和雄	
42	個人	坪井裕一郎	岡山県瀬戸内市
43	個人	坪井智美	岡山県瀬戸内市
44	個人	戸田和吉	広島県福山市
45	個人	長岡武司	
46	個人	中尾清	兵庫県神戸市
47	個人	仲尾宏	滋賀県大津市
48	個人	中澤慶輝	
49	個人	永留史彦	
50	個人	仁位孝雄	長崎県長崎市
51	個人	西谷隆行	
52	個人	信原修	
53	個人	夫学柱	
54	個人	福田浩一	
55	個人	福永知佐子	山口県光市
56	個人	藤本弘子	
57	個人	裴順姫	
58	個人	堀ちづ子	広島県廿日市
59	個人	町田一仁	
60	個人	松岡睦彦	
61	個人	丸尾とし子	
62	個人	蓑田俊輔	
63	個人	村田景昭	
64	個人	村田ミチエ	山口県柳井市
65	個人	八木静恵	山口県上関町
66	個人	安田和幸	
67	個人	柳原一興	
68	個人	山口久範	

No	種別	氏名	住所
69	個人	山田雄彦	東京都町田市
70	個人	尹大辰	愛知県名古屋
71	個人	尹芝恵	
72	個人	芳村笙子	北海道滝川市
73	個人	盧桂順	奈良県王寺町
74	個人	和田佐喜男	三重県鈴鹿市
75	個人	千田龍彦	岐阜県岐阜市
76	個人	吉田智史	福岡県須恵町
77	個人	魏聖銓	
78	個人	小川順子	広島県広島市
79	個人	森英一	
80	個人	山元香	
81	個人	桜井信寿	
82	個人	佐川嘉奈子	京都府京都市
83	個人	水田敏郎	
84	個人	李眩周	
85	個人	金鐘珉	
86	個人	石川泰成	福岡県福岡市
87	個人	宮原信哉	
88	個人	井本克二	山梨県上野原市
89	個人	朴曜子	
90	個人	真弓智恵子	福岡県久留米市
91	個人	子安孝夫	岐阜県大垣市
92	個人	竹内真道	滋賀県彦根市
93	個人	大澤研一	大阪府堺市
94	個人	野口茂治	栃木県宇都宮市
95	個人	久和温実	
96	個人	柏山泰訓	兵庫県たつの市
97	個人	藤村泰夫	
98	個人	滝本洋一	
99	個人	小川裕司	東京都江戸川区
100	個人	今村公亮	福岡県春日市
101	個人	魯ゼウオン	

誠信交隣21
縁地連だより No.25

発行日 2022年（令和4年）3月31日

発行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441番地

TEL 0920-53-6111

FAX 0920-52-1214

HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>

印刷 (株)厳原印刷所

